

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。



高橋 武志 隊員 45歳 東京都から移住

笠間でちょこっと
移住体験



「かさちょこHOUSE」外観

利用者からは非常に評判が良く、「素晴らしい施設なので、ぜひ他の移住希望者にも利用してもらいたい」といった嬉しい感想や、「平日はリモートで仕事し、終業後や休日に散歩や買い出しをして気持ち良い時間を過ごせた」など、さまざまなライフスタイルが笠間市でも可能になることを実感してもらっています。私の移住コンシェルジュとしての活動にも参考にさせていただいています。

また、「まちの方々気がさくに質問に答えてくれた」や「自分たちの子どもにやさしく声をかけてくれた」など、心温まるお言葉もいただきます。このような素晴らしい施設やあたたかい人々が集まる笠間市を、私は誇りに思っています。

こんにちは。地域おこし協力隊の高橋です。私は協力隊としてのミッションである「移住コンシェルジュ」として、移住希望者への相談対応やアテンド、移住体験施設の案内などを通して笠間市への移住推進を行っています。

私自身、東京から笠間市に移住して5か月が経ちました。自然に囲まれた生活は、まだ慣れない活動の疲労や不安を癒してくれます。

さて今回は、移住体験施設「かさちょこHOUSE」についてお伝えします。

市では、笠間市への移住を検討している方が一定期間滞在し、笠間市の暮らしを体験することができる移住体験施設を用意しています。観光だけでは味わうことができない、住んでみてわかる笠間市の風土や魅力、生活環境、利便性などを体験できる施設です。



利用者のご家族と一緒に記念撮影
(右端が高橋隊員)



8畳と6畳の和室



ダイニングキッチン

まだ笠間市で暮らし始めて半年足らずの私ですが、最近はずいぶん家に帰れるようになりました。少し遠回りすることがあっても、それもまた人生。仕事での失敗も帰り道での迷子も、無駄なことではないと思います。皆さん、これからもよろしくお願ひします。



フェイスブックも
ご覧ください

問 企業誘致・移住推進課 (内線592)